

貯法：室温保存
有効期間：4年

健胃消化剤
日本薬局方 希塩酸

| | |
|------|------------------|
| 承認番号 | 16000AMZ04471000 |
| 販売開始 | 1949年8月 |

希塩酸「コザカイ・M」

Dilute Hydrochloric Acid

2. 禁忌（次の患者には投与しないこと）

アシドーシスのある患者〔症状を悪化させるおそれがある。〕

3. 組成・性状

3.1 組成

| | |
|------|-------------------------------|
| 有効成分 | 塩化水素 (HCl:36.46) 9.5~10.5w/v% |
|------|-------------------------------|

3.2 製剤の性状

| | |
|----|-----------------------|
| 性状 | 無色の液で、においはなく、強い酸味がある。 |
|----|-----------------------|

4. 効能又は効果

低・無酸症における消化異常症状の改善

6. 用法及び用量

通常成人1日量0.5~1.0mLを約200mLの水にうすめるか、又はリモナーゼ剤として1~数回に分けて経口投与する。
なお、年齢、症状により適宜増減する。

11. 副作用

次の副作用があらわれることがあるので、観察を十分に行い、異常が認められた場合には投与を中止するなど適切な処置を行うこと。

11.2 その他の副作用

| | |
|-----|------------------|
| | 頻度不明 |
| 消化器 | 便秘 ^{注)} |

注) 長期投与によりあらわれることがある。

14. 適用上の注意

14.1 薬剤投与時の注意

14.1.1 必ず希釈し、濃度に注意して使用すること。

14.1.2 投与に際しては、歯のホーロー質をいためることがあるので、ストローなどを用いるか、投与後、炭酸水素ナトリウム水で含嗽させること。

14.1.3 眼に入らないように注意すること。眼に入った場合には直ちに水で洗い流し、専門医の処置を受けること。

18. 薬効薬理

18.1 作用機序

塩酸は生体組織に対して強い刺激、腐食作用を現すが、至適濃度では、ペプシノーゲンを活性化してペプシンとし、タンパク質消化機能をたかめる。防腐効果を有し、胃壁に刺激を与え、十二指腸においてプロセクレチンを活性化し、間接的に膵液、腸液の分泌を促進する¹⁾。

22. 包装

500mL [ガラス瓶]

23. 主要文献

1) 第十八改正日本薬局方解説書。廣川書店。2021：C-1154-1159

24. 文献請求先及び問い合わせ先

吉田製薬株式会社 学術部
〒164-0011 東京都中野区中央5-1-10
TEL：03-3381-2004 FAX：03-3381-7728

26. 製造販売業者等

26.1 製造販売元

小塚製薬株式会社
東京都墨田区両国4-36-9

26.2 発売元

吉田製薬株式会社
東京都中野区中央5-1-10